
赤い帽子の駅長さんシリーズ（路面電車は夢を乗せて）

whitecat

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

赤い帽子の駅長さんシリーズ（路面電車は夢を乗せて）

【Nコード】

N3496H

【作者名】

white cat

【あらすじ】

足を骨折したため入院した、みっちゃんと理学療法士で夢想家のちよつとダメンズな猫路さんがおりなす物語。猫路さんは、夢路さんと呼ばれるほどの夢想家。ちよつとふさぎ気味のみっちゃんに夢を語るのですが、院長に見つかって・・・さてどうなったのでしょうか？

（前書き）

この物語は、4年程前に和歌山電鐵【たま駅長で有名ですよね】が南海電鉄貴志川線と呼ばれていた頃の存続運動をイメージして書いたものです。

今日は、雨

朝から、シトシト・・・もう3日も雨が続いています。

みっちゃんは、足の骨を折ってしまって病院に入院中の小学校6年生、お友達から借りた本もみんな読み終えてしまって少し退屈。

「雨やまないかしら。お医者様は少しくらいなら外出しても良いよって仰ってくれたのに。」

みっちゃんは、少し不服そうな顔で独り言。

看護師さんが、「みっちゃん、リハビリの時間ですよ。」

みっちゃんは、少し面倒くさそうな顔をしながらも、車椅子に乗り移りました。

看護師さんは、色々話かけてくれるけれど上の空・・・みっちゃんは、お天気ばかりが気になっている様子でした。

お天気ばかりは、みっちゃんが気にしても晴れるわけではないのですね。

みっちゃんは、リハビリはあまり好きではありませんでした、どちらかと言えば、本を読んだりして空想するのが好きで、体を動かすのはあまり得意な方ではありませんでした。

理学療法士の猫路さんがみっちゃんに声をかけます。

「おはよう、みっちゃん、少し機嫌が悪いのかな？」

猫路さんは岡山出身の45歳、理学療法士になる前は郵便局に勤めていたといっていました。

猫路さんは夢路さんみんなから呼ばれるくらい、夢が多い人で、

口の悪い患者さんからは『妄想癖の夢路さん』と言われていたくらいです。

猫路さんは、みっちゃんに話かけました。

今日はみっちゃんに、面白いお話を聞かせてあげるね。

猫路さんは、みっちゃんに岡山には路面電車が走っていること、最近新しい路面電車が走っていることなどを聞かせてあげました。

でも、電車に興味なんてないみっちゃんには、上の空。

「おやおや、上の空だね、みっちゃん。でもね、その電車からお手紙が出せるんだよ、全国に・・・」（注…MOMOの車内に設置されていたPOSTは現在撤去されています。）

みっちゃんの目が輝きました、正確にはいいままで上の空で聞いていたみっちゃんが、急に興味を持ったのです。

夢路さん。思わずみっちゃんが、患者さんが何時も言っているあだ名でいってしまいました。

でも、猫路さんは嫌な顔一つせずに、ニコニコ笑いかけています。

「どうしたんだい、急に・・・」

「ううん、なんでもないの、面白いなあと思って。」

「それにこの電車は、日除けのカーテンがすだれ（簾）なんだ。」

「すだれ？」

みっちゃんは、思わず聞き返します。だって、簾なんてダサイものとか考えていなかったからです。

猫路さんは、これが写真だよと、見せてくれました。青

色と銀色を上手く使ったとてもお洒落な路面電車でした。

猫路さんは、この電車が今度この街にも走るんだよ……。

猫路さん、少し妄想が入ってきて夢モード……おいおい大丈夫かしら。

猫路さんは、この電車をみんなの力で買うのさと言っている。

猫路さんは、夢路さんになってその熱い思いをみっちゃんに話かけています。

みっちゃんは、もう上の空では聞いてくれません、むしろみっちゃんの方が妄想モードになっているみたいです。笑

それでは、猫路さん改め、夢路さんのお話をみんなで聞いてみましょうね。

とある町の駅前、お洒落なカフェがあって、みんなそこで思い思いの時間を過ごして、電車の来るのを待っているの。

電車はすべて、床の低い電車だからみっちゃんの場合は大丈夫だけど、足の不自由な方も車椅子で一人で自在に乗り降りできるんだ、駅と電車が同じ高さになるんだよ。

電車も、最高速度は80kmも出るの、とっても快適なんだよ。

もちろん、普通の道ではそんなに速く走らないけどね。

そんなことを情熱を込めて語る夢路さんに、遠くからチーフの声が聞こえます。

夢路さん、手がお留守よ……、給料からその分引いておくからね。

来月の給料マイナス1万円なのでよろしく。

院長が、さりげなく声をかけていきました。

ハット我に返る猫路さん。

このあと、院長にそれだけは勘弁してくださいと言ったのかどうか・・・？

みっちゃんは、電気治療のため、別の理学療法士さんに案内されてリハビリを続けるのでした。

ところで、みっちゃんは妄想モードはどうなったかって？

それはみなさまの想像にお任せしますね。笑

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3496h/>

赤い帽子の駅長さんシリーズ（路面電車は夢を乗せて）

2010年10月10日18時22分発行